

1 3 . 酸性雨等森林被害モニタリング事業 国庫委託事業

鈴木 創、新井一司

〔目的〕

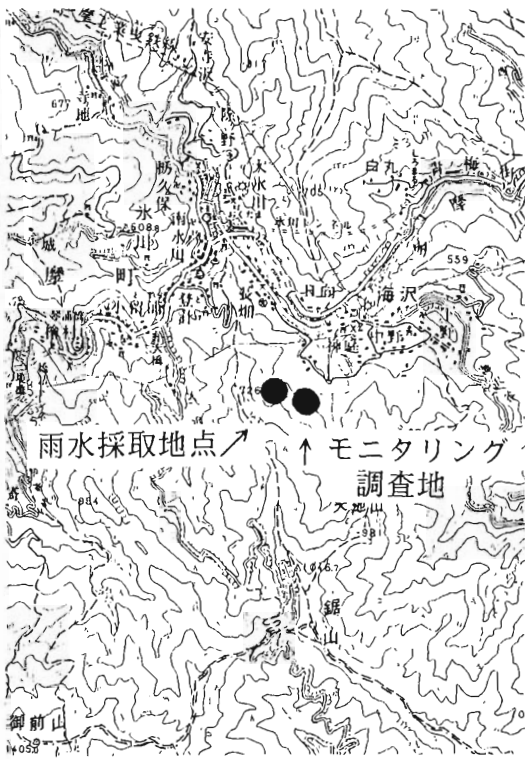
林野庁では、酸性雨等による森林への被害状況を把握するため、平成2年度から平成6年度まで5ヵ年にわたって全国1200ヵ所の地点の森林を対象に第1期モニタリング調査を実施してきた。平成7年度からは第2期モニタリング調査が、第1期の5年後追跡調査として始められた。現地調査等は、国からの委託により各県が分担することとなっており、東京都では今年度2ヵ所について実施した。尚、本事業は国庫委託事業であり、データの解析・公表の一切は林野庁が行うものとされている。

〔方法〕

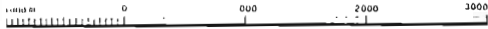
林野庁にて定められている『酸性雨等森林被害モニタリング事業実施マニュアル』に基づいて行った。調査地は、1/5万の地形図図幅名『五日市』のスギ人工林29年生及び、同『青梅』のコナラ二次林27年生である(図1)。それぞれの調査地で、雨水調査(平成7年6月19日～29日)、毎木調査及び衰退度調査、土壌及び植物体(葉)の採取等を行い、マニュアルに従い乾燥や粉碎処理した後、指示された機関に送付した。また、マニュアルの様式に従って取りまとめ平成8年1月26日林野庁に提出した。

〔結果〕

上記の理由から、現時点では一切公表できない。



1:50,000 五日市



1:50,000 青梅

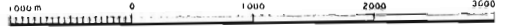


図1 モニタリング調査地及び雨水採取地点



写真1 雨水採取状況



写真2 土壌調査状況